

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 市 区 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 公 立 小 ・ 中 ・ 義 務 教 育 ・ 中 等 教 育 ・ 特 別 支 援 学 校 長 様
教 育 関 係 者 様

全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 職 員 研 究 会
会 長 鳥 本 安 博
50 周 年 記 念 全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会
実 行 委 員 長 松 本 良 子

50 周年記念全国公立小中学校事務研究大会 (千葉大会) の開催について (依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、50 周年記念全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、千葉市において開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りあるものにしたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

50 周年記念全国公立小中学校学校事務研究大会(千葉大会)

開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「学校組織開発とマネジメント力の向上」
～ 一人の力を組織の力へ すべては子どもたちのために ～
- 2 目 的 次世代を生き抜く子どもを育成するためには、「地域とともにある学校」が求められている。その実現には、学校と地域が協働する組織の在り方を見直し、新たな組織文化の創造が必要である。本大会では、「地域とともにある学校」の役割及び組織の力を最大限に発揮するための学校組織開発と、マネジメント力を発揮する事務職員、戦略性をもった事務組織としての共同学校事務室の役割について追究する。
- 3 主 催 全国公立小中学校学校事務職員研究会
- 4 共 催 関東地区公立小中学校学校事務職員研究協議会
- 5 主 管 千葉県学校事務研究協議会
- 6 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 千葉県 千葉県教育委員会 千葉市 千葉市教育委員会 全国市町村教育委員会連合会 全国都市教育長協議会 全国町村教育長会 指定都市教育委員会協議会 千葉県市町村教育委員会連絡協議会 千葉県都市教育長協議会 千葉県町村教育長協議会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 千葉県教育研究会 千葉県小学校長会 千葉県中学校長会 公益社団法人日本PTA全国協議会 千葉県PTA連絡協議会 千葉市PTA連絡協議会 公益財団法人日本教育公務員弘済会 一般財団法人千葉県教育会館維持財団 公益財団法人日本教育公務員弘済会千葉支部 千葉県学校生活協同組合 千葉県教職員福祉協議会 教職員共済生活協同組合千葉県事業所 一般財団法人教職員保険センター 千葉県学校用品株式会社

7 期 日 平成 30 年 8 月 1 日 (水) ～ 8 月 3 日 (金)

8 日 程

	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	15:00	16:30
8月1日(水) 全体会 (1日目)	受付	開 会 式	テ オ リ シ エ ン	文部科学省 行政説明	昼食 アトラクション	全体研究会 I	記念講演
	9:00	9:30	12:30		13:30	16:30	
8月2日(木) 分科会 (2日目)	受付	分科会討議			昼食	分科会討議	
	9:00	9:30	10:15	11:45	12:15		
8月3日(金) まとめの会 (3日目)	受付	大会 報告	全体研究会 II	閉会式			

9 参 加 者 公立小・中・義務教育・中等教育・特別支援学校事務職員 その他学校事務担当職員
教育委員会事務局職員及び教育関係者等

10 研究テーマ及び会場

【1日目】

全体会	会場	千葉ポートアリーナ（メインアリーナ）	（定員 4,000 名）
-----	----	--------------------	--------------

【2日目】

本部研究分科会 （全事研本部）	テーマ 新たな組織文化を創造する学校組織開発 －戦略的な協働を生み出す共同学校事務室と事務職員－ 会場 千葉市民会館 大ホール	（定員 980 名）
第1分科会 （東北地区）	テーマ これからの学校事務職員は何を学ぶべきか －東北ブロック研修会の研修のあり方－ 会場 千葉市民会館 小ホール	（定員 270 名）
第2分科会 （東海地区 プロジェクトチーム）	テーマ 「チーム学校」の実現に向けた「協働」の創生 －「チーム東海」、想いをひとつに！ 次代につなぐ組織的な学校事務の展開に向けて－ 会場 青葉の森公園芸術文化ホール	（定員 850 名）
第3分科会 （新潟支部）	テーマ 子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり －しくみ！×しかけ！×マネジメント♪－ 会場 千葉市文化センター アートホール	（定員 450 名）
第4分科会 （滋賀支部）	テーマ 新しい学校事務の機能を探る －「変わる学校・変わる事務職員」 4D学校組織図からみえてきたもの－ 会場 千葉市美浜文化ホール メインホール	（定員 330 名）
第5分科会 （広島支部）	テーマ 学校教育目標を達成し、子どもの育ちを支援する 「チーム学校」の一員として －組織をつなぐ－ 会場 鎌取コミュニティセンター 多目的ホール	（定員 240 名）
第6分科会 （愛媛支部）	テーマ 学校力を高める学校事務の在り方 －愛顔（えがお）あふれる未来に向かって－ 会場 千葉市生涯学習センター ホール	（定員 280 名）
第7分科会 （佐賀支部）	テーマ 統括事務長・事務長制による学校事務組織の確立 －佐賀県学校事務のあゆみと今後の展望－ 会場 蘇我コミュニティセンター 多目的ホール	（定員 370 名）
第8分科会 （神奈川支部）	テーマ 総合的マネジメントへのステップバイステップ！ －子どもたちの学びを保障する「かながわ」の学校事務職員像－ 会場 千葉県教育会館 大ホール	（定員 470 名）

【3日目】

まとめの会	会場	千葉ポートアリーナ（メインアリーナ）	（定員 4,000 名）
-------	----	--------------------	--------------

11 文部科学省行政説明 (文部科学省)

12 全体研究会Ⅰ・Ⅱ 「学校力を高める組織開発と新しいステージへ向かう事務職員」 (全事研本部)
Ⅰ 基調報告 Ⅱ パネルディスカッション

13 大会報告 (全事研本部)

14 記念講演 演題 「スポーツが変える。未来を創る。」
～Tokyo2020 とその先に向けて～
講師 スポーツ庁長官 鈴木 大地 氏

15 大会参加費 5,000 円

50 周年記念全国公立小中学校事務研究大会(千葉大会)

研 究 概 要

1 大会テーマとそのねらい

戦略領域「学校組織開発」 大会テーマ「学校組織開発とマネジメント力の向上」

第8次研究中期計画の最終年次に当たる千葉大会では、戦略領域である「学校組織開発」を軸に、より良い学校づくりの具現化に向けた理論研究・実践研究を通して、ミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を追究し、その実現を目指します。

少子高齢化・グローバル化が進展するなか、日本の将来を担い次世代を生き抜く子どもを育成することが学校に求められています。しかし、暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の問題、特別な配慮を要する児童生徒の増加等、学校が対応すべきことが山積しています。家庭の経済状況の悪化や親の無理解、地域社会のつながりの希薄化等が絡み合い、課題解決をより困難にしている場合も少なくありません。加えて、教員が子どもと向き合う時間の確保も声高に叫ばれるようになっていきます。そのようななか、平成27年12月21日中央教育審議会から「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」の答申が出されました。答申では、これからの学校が複雑化・多様化した課題を解決するためには、「学校の組織としての在り方や、学校の組織文化に基づく業務の在り方などを見直し、『チームとしての学校』を作り上げていくことが大切である」と述べられています。

学校組織の在り方については、現在進められている教育改革のなかでも取り上げられてきました。最も大きな転機となったのが、平成10年の中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方について」です。答申では、「学校の自主性・自律性の確立」を前面に掲げ、「学校裁量権限の拡大」「学校運営組織の見直し」「地域住民の学校運営への参画」等の具体像を示しました。「学校運営組織の見直し」では、「学校運営が校長の教育方針の下に組織的、機動的に行われるよう、主任制、職員会議の法令上の位置付け、在り方等を含め学校運営組織の適正化を図る」と提言しました。それを受け、副校長、主幹教諭、指導教諭等の新たな職の創設や職員会議の法制化が行われました。さらに、平成12年に発足した「教育改革国民会議」では、学校に組織マネジメントの発想を取り入れることが示され、以降各地で学校組織マネジメント研修が行われています。

このように、学校組織の在り方について様々な改革が進められてきていますが、現在の学校が組織として十分に機能しているかと問われれば、大きく肯くことができない状況であると言わざるを得ません。学校は、長い間教員一人一人が個々に学級や分掌で力を発揮してきたということから、組織として協働することに対する意識がまだ十分ではないように思われます。すなわち、個業型組織から協働型組織への意識の転換が必要なのです。

そこで有効なのが「組織開発 (organization development)」です。組織開発とは、組織の有効性・健全性を高めることを目的に行う組織の変革やそのプロセスを言います。組織をより機能させるために、組織を発展的に改善していくプロセスとも言えます。「人材開発」が直接「人」に働きかけるのに対し、組織開発は組織を構成している人と人との「関係性」に着目します。組織のシステムや制度といったハード面や、組織文化や職場の風土といったソフト面を改善することで、組織の機能がより高まります。しかしながら、最終的に組織を構成するのは「人」であることから、個人が変わらなければ組織も変わらないのは言うまでもありません。個人の力量を高め、さらに効果的に発揮できるように個人及び周囲に働きかけることも組織開発と考えられます。

第8次研究中期計画で述べてきた「人材育成」「カリキュラムマネジメント」「学校ガバナンスの確立」「地域協働」、これらを効果的に行っていくためには、学校の組織としての力が必要であり、学校組織開発が不可欠です。「地域とともにある学校をマネジメント」を基盤とした第8次研究中期計画の総括として、以下の課題を整理し、学校組織開発における事務職員の役割、キャリア形成・能力開発、共同学校事務室の在り方や役割について考えます。

(1) 学校組織の在り方とリーダーシップ

(2) 学校のマネジメント力の向上と事務職員・共同学校事務室の役割

日本の空の玄関であり国際都市の象徴である千葉県は、海や山、歴史といった自然の魅力もあふれています。グローバルとローカルの共存する地で、「一人の力を組織の力へ すべては子どもたちのために」を合言葉に、全国の皆様と新たな学校事務を展望しましょう。

2 全体研究会 I (1 日目)

テーマ 「学校力を高める組織開発と新しいステージへ向かう事務職員」

半世紀を迎えた全事研活動を総括し、全事研が果たしてきた役割や軌跡を振り返りながら、今後の学校事務の新しいステージに全事研が果たすべき役割や意義を改めて確認します。

また、50 周年記念大会千葉大会は第 8 次研究中期計画の最終年次であり、設定された戦略領域は「学校組織開発」です。大きく転換期を迎えた学校事務の未来を見つめて、学校において、有効かつ効果的に教育活動を支え、有機的に子どもたちの豊かな育ちを支援する事務機能の強化を学校組織開発の視点から事務職員の役割を考えます。

全体研究会 I では学校事務の現状を制度やデータから分析し、今後の事務職員の役割を追究していきます。また、これまでの全事研活動を振り返るなかで、新しい学校事務のグランドデザインについて参加者とともに共有します。

□ 第 8 次研究中期計画の実施報告とこれまでの研究のあゆみ

第 8 次研究中期計画の策定に当たり、「『地域とともにある学校』の創造に向けて、家庭・地域のみならず、時には、企業や NPO などの多くの主体とともに、教育を創る学校事務の在り方について議論・追究すべきである」と考えました。これまでの研究のまとめを報告するとともに、「地域とともにある学校」を実現する「学校組織開発」の必要性を参加者の皆様と共有します。

□ データから読み取る「つかさどる」職としての事務職員の現状と全事研の取組

学校教育法における事務職員の職務が「つかさどる」に変わったことにより、実際の私たちの職務はどのように変わったのでしょうか。制度と意識の両面のデータから現状を読み取っていきます。従来の固定観念から脱却できずに「従事」に留まっている事務職員もいるかも知れません。また、取り巻く人々の意識を変革していくことも必要と考えます。新たなステージへ向かうために、現状を皆様と共有します。

□ 第 3 期学校事務のグランドデザインの策定報告

事務職員共有の「仕事宣言」として策定された「学校事務のグランドデザイン」は策定から 10 年を迎えました。50 周年を機に、これからの学校と教育行政の在り方を展望し、事務職員の今後の職制を踏まえた学校事務の中・長期的な新たな全体構想を描きます。ここに「第 3 期学校事務のグランドデザイン」を報告するとともに、参加者の皆様と共有します。

3 分科会テーマと概要(2 日目)

大会 2 日目は分科会を行います。第 8 次研究中期計画の最終年次、それぞれに積み重ねられた特色ある研究発表と討議が展開されます。

□ 本部研究分科会

本部研究開発部を中心に進めてきた大会テーマに基づく継続的な研究の提案発表を行います。本研究では、学校の組織文化を変革していく営みである「学校組織開発」を軸に、地域とともにある学校が教育目標達成のためにマネジメントできる組織づくりを推進し、その構成員の資質能力を向上させ、より良い学校づくりと地域づくりへと意識を改善していく営みを描いていきます。「学校組織開発」とは、「協働を通して、地域とともにある学校の組織文化を、ポジティブなものに変革するプロセス」と捉えました。学校が多様な主体と協働するためには、認め合い、新たな価値観を創っていくことが必須であり、各主体が相互にその特性や責任と役割を理解し、新たな一つの組織文化を形成していく必要があると考えます。学校組織開発を推進し、子どもの豊かな育ちをささえる学校組織を実現する共同学校事務室と事務職員の在り方について追究します。

□ 第 1～8 分科会

周年大会である本大会では、開催地区だけでなく全国各地区、各支部の協力を得て分科会を開催します。東北地区、東海地区プロジェクトチーム、新潟支部、滋賀支部、広島支部、愛媛支部、佐賀支部、神奈川支部の皆様に担当していただきます。

各分科会では、「学校組織開発とマネジメント力の向上」の大会テーマの下、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究討議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見出せるのではないかと期待しています。

※各分科会の提案概要は以降を御覧ください。

－ 戦略的な協働を生み出す共同学校事務室と事務職員 －

1 研究テーマ設定の理由

次世代の学校の実現に向けて、学校は多様な主体と協働する必要があります。そのためには、各主体が認め合い、価値観を共有した上で、子どもの豊かな育ちをささえる新たな組織文化の創造が重要となります。この新たな組織文化は目標の共有を促し、組織が機能する学校づくりにつながり、地域づくりへと波及するものと考えます。地域とともにある学校の組織文化を創造する営みである組織開発と学校組織の在り方、さらには戦略的な協働を生み出す共同学校事務室と事務職員のあるべき姿と役割について追究することが必要と考え設定しました。

2 提案発表の骨子

地域とともにある学校が、目指す子ども像の実現のために、協働を通して、組織文化を変革するプロセスと、組織の力を高める姿を描きます。そして、学校組織開発に戦略性をもって臨み、子どもの豊かな学びを実現する共同学校事務室と事務職員の姿と役割について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案を行い、討議の柱にしたがって研究協議を行います。

4 分科会討議の柱

(1) 学校組織開発の在り方と新たな組織文化の創造

(2) 地域とともにある学校において戦略的な協働を生み出す共同学校事務室と事務職員の役割

5 参加者へのお願い

子どもの豊かな育ちのために、地域とともにある学校はどのような組織であるべきか、実現に向けてどのように組織開発を展開していけば良いのか、子どもの輝く未来の姿を想像しながら、共に描いていきましょう。

－ 東北ブロック研修会の研修のあり方 －

1 研究テーマ設定の理由

学校教育法の一部改正により、私たちの仕事は「事務をつかさどる」仕事になりました。そして、私たちの仕事が変わることは、共に学校で働いている他の教職員の仕事も変わることを意味します。誰も経験したことがない、新しい学校組織を考え出す必要があります。

2 提案発表の骨子

「事務をつかさどる」経験をしたことがない以上、その隔たりを埋めるには研修をしなければなりません。東北6支部は、合同で自主研修会（東北ブロック研修会）を開いています。この研修会は、県の枠を越えて、職務経験年数の多い事務職員から少ない事務職員までが一堂に会する魅力的な研修会です。

本分科会では、私たちの学びの場を紹介しながら、今後、新しい学校組織を作るためにどのような研修が必要なのかを提案します。

3 分科会運営の形態

前半は講義形式 後半はセミナー形式

4 分科会討議の柱

(1) いわゆる「チームとしての学校」を踏まえた事務職員の役割とは

(2) 「事務をつかさどる」ために事務職員が学ぶべきこととは

5 参加者へのお願い

若手事務職員の皆様は、是非、御参加ください。本分科会では「東北ブロック研修会」を再現します。模擬講義の受講を体験してみてください。

第2分科会

東海地区プロジェクトチーム

「チーム学校」の実現に向けた「協働」の創生

－「チーム東海」、想いをひとつに！

次代につなぐ組織的な学校事務の展開に向けて－

1 研究テーマ設定の理由

東海事務研（愛知・岐阜・三重・静岡）の研究部・研究プロジェクトチームは、事務職員が組織的に学校経営・運営にかかわり、学校のマネジメント機能を強化していく上で、必要不可欠である「協働」の創生に注目しました。いかにして「協働」を生み出し、「チーム学校」を実現させるか、優れた実践事例を参考に、これからの学校や学校事務組織の在り方について、参加者と想いをつなぎ、共に考える機会にできればと考え、この研究テーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

「チーム学校」の実現に向けて、事務職員が組織的に学校のマネジメント力を強化していくため、組織開発の手法である「創造的な対話の場（オフサイト・ミーティング）」の設定と「チーム・ビルディング」に着目し、学校や共同実施組織における「協働」の創生について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表、助言者による助言・小講義等を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 「チーム学校」の実現に向けた学校や共同実施組織での「協働」の在り方
- (2) 次代につなぐ組織的な学校事務の展開と事務職員の役割

5 参加者へのお願い

「協働の創生」をテーマに、参加者同士で話し合う場面も考えています。人と人とのかかわりから、気づき、学びを深める場にしたいと考えています。

第3分科会

新潟支部

子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり

－しゅくみ！×しかけ！×マネジメント♪－

1 研究テーマ設定の理由

新潟県学校事務研究協議会では、「子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校」の実現に向け、「研究基本要領2015」を基に、県内各支部の実態に応じて実践を進めています。学校が、保護者や地域そして関係機関と連携・協働しながら、かかわるすべての人がいきいきと活躍する学校をつくるためには、地域と一体となった基盤が欠かせません。その基盤をつくり組織力を高めるのが、経験に左右されず、安定した事務機能を提供する持続可能な「しゅくみ」と、気づきから主体的に働きかける「しかけ」です。学校事務職員が「事務をつかさどる」役割を果たしていくために、「しゅくみ」をつくり「しかけ」を工夫し、マネジメントを展開することで、楽しい学校づくりにつながるものと考え、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

県内各支部の実践から、「しゅくみとしかけによる学校の組織力の向上」と「事務をつかさどる学校事務職員の役割」を考えます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案と実践紹介。発表の後、意見交換と指導者とのシンポジウムを行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 「しゅくみ」と「しかけ」において学校事務と学校事務職員の果たす役割とは何か
- (2) 「地域とともにある学校」における学校事務と、「事務をつかさどる」学校事務職員の役割とは何か

5 参加者へのお願い

意見交換では、全国各地の現状や実践の紹介等、積極的な発言をお願いします。

第4分科会 滋賀支部

新しい学校事務の機能を探る

－「変わる学校・変わる事務職員」 4D学校組織図からみえてきたもの－

1 研究テーマ設定の理由

近年めまぐるしく変わる社会情勢のなかで、教育改革が進められてきました。事務職員は、積極的に教育を支援し、時代の要請に応える学校事務を遂行するための能力を最大限に発揮することが求められています。しかし一方では、「AI 等による代替可能性が高い職業」の中に「学校事務員」が挙げられています。相反する流れのなか、本分科会では、学校組織の「機能」から見た事務職員の役割とは何か、追求していきます。

2 提案発表の骨子

滋事研としての取組の成果及び各校での実践、そして学校組織図から見える学校事務機能について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案と、参加者との交流を中心に討議の柱にしたがって会場と一体となった研究協議を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) マネジメント力を有し、学校組織開発に貢献する事務職員
- (2) 地域とともにある学校を創造する事務職員

5 参加者へのお願い

本分科会は皆様と一緒に学べる場にしたいと考えています。事前に滋事研 web (<http://shijiken.com/>) にてお知らせする「参加者の心得」を熟読いただき、御自身の学校組織を見直し、新しい学校事務の機能について共に考えましょう。

第5分科会 広島支部

学校教育目標を達成し、子どもの育ちを支援する 「チーム学校」の一員として

－ 組織をつなぐ －

1 研究テーマ設定の理由

事務職員が「チーム学校」の一員として、教育を「支援」するだけでなく、学校経営の中核となり、教育行政を「担う」立場になることが必要です。これまでも財務・情報・ネットワーク等、様々な場面で事務職員として力を発揮してきました。今後は様々な組織をつなげていくことが「チーム学校」の一員としての役割であると考え、このようなテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

広島県事研ビジョン「広島風おこのみプラン」で掲げている4つの目指す事務職員像「企画・提案する事務職員、地域連携に貢献する事務職員、情報収集・発信する事務職員、教育活動と財務をつなぐ事務職員」を軸として、市町教育委員会と共同事務室、学校と地域と事務職員の在り方を提案し、「組織をつなぐ」とはどういうことなのか、現在の広島県の実情や実践とともに提案していきます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表・グループワーク・助言者による講義

4 分科会討議の柱

- (1) 「学校組織の一員としてつなぐ」事務職員とは
- (2) 「つかさどる」事務職員に「求められる役割」と「果たすべき役割」とは

5 参加者へのお願い

全国の仲間と共有・共感でき、情報交換をする場になればと思っています。積極的な参加をお願いします。

第6分科会 愛媛支部

学校力を高める学校事務の在り方

－ 愛顔（えがお）あふれる未来に向かって －

1 研究テーマ設定の理由

今、「チームとしての学校」が求められている背景は、複雑化・多様化した課題を解決するため、さらに、教員が子どもと向き合う時間を確保し、子どもたちが愛顔（えがお）あふれる未来に向かって「生きる力」をはぐくむための体制を整備し、学校の機能強化を行う必要性にあります。

愛媛県では、学校事務の共同実施を推進し、学校の管理運営の適正化と効率化に努めることで学校力を高めてきました。「チームとしての学校」の実現には、さらなる事務職員の資質の向上や事務体制の整備による学校機能の強化を行うことで、より一層学校力を高めることが必要と考えました。そこで組織的な共同実施の推進と事務職員の職務内容の見直しを通して事務職員と共同事務室の役割等について研究を行いました。

2 提案発表の骨子

地域長制に基づく共同実施の推進により、組織的に学校力を高め、様々な課題に対応した職務内容と共同事務室の役割について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表、研究協議、助言等

4 分科会討議の柱

- (1) 学校経営への参画に向けて、これからの事務職員の役割と職務内容について
- (2) 「チームとしての学校」の実現に向けて、事務職員・共同事務室の果たす役割について

5 参会者へのお願い

これからの事務職員の役割について、標準職務の在り方など具体的な実践などを交えて、活発な意見交流の場となるようお願いします。

第7分科会 佐賀支部

統括事務長・事務長制による学校事務組織の確立

－ 佐賀県学校事務のあゆみと今後の展望 －

1 研究テーマ設定の理由

佐賀県では、ここ数年で、大きな制度改革が実施されました。しかしながら、「子どもの豊かな育ちと学校運営を組織の一員として共に担う」という学校事務の根源は変わりません。共同実施を軸とした組織作りと、その組織のなかで職名に応じた個人目標や組織目標を達成していく過程で、学校事務職員として「学校事務のマネジメントとガバナンス」を確立していくことが重要であると考え、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

佐賀県の学校事務職員を取り巻く制度はどのように変化してきたのかを、全国的な変遷とともに見ていき、新しい学校事務職員像と学校事務組織について考察します。また、佐賀県の管理職事務長制を伴う共同実施発展形の現状と展望について発表し、これからの組織や制度の在り方について皆様と共に考えていきます。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる佐賀県の状況説明と助言者によるミニ講演を、テーマごとに展開していきます。最後に、皆様と共に考察を深めるシンポジウムを開催いたします。

4 分科会討議の柱

- (1) これからの事務職員の在り方と仕事への取り組み方
- (2) 共同実施を軸としたキャリア形成
- (3) 管理職事務長制による組織作り

5 参加者へのお願い

シンポジウムでは、会場全体で討議をしていきます。皆様の積極的な御発言をお願いします。

－ 子どもたちの学びを保障する「かながわ」の学校事務職員像 －

1 研究テーマ設定の理由

神奈川県ではこれまで次の時代を念頭においた「かながわ」の学校事務の指針を示すことを目的として研究を進めてきました。子どもたちや学校の複雑・多様化している近年の課題を解決するための学校組織開発とマネジメント力向上を見据え、これからの事務職員の役割や職務を追究していくことが必要であると考えました。

2 提案発表の骨子

地区の研究大会では、連携・チーム力で学校事務の高い水準での標準化を目指し、そのなかでの事務職員の職務やキャリアデザイン、共同実施の役割等についての提案を行ってきました。

今大会では 2017 年の学校教育法等改正も踏まえ、テーマであるマネジメントへの一歩となるような、またこれまでの提案内容をより深めて、確固たるものにするための研修制度などを含めた「かながわ」の学校事務を提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案を行い、討議の柱にしたがって研究協議などを行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 学校組織と共同学校事務室
- (2) 事務職員のマネジメント力とリーダーシップ

5 参加者へのお願い

本分科会は理論と課題研究の発表です。参加者の皆様とともに、「制度」として確立するための協議にしていきたいと考えております。

4 まとめの会(3日目)

大会3日間のまともとして設定します。大会報告として、各分科会の研究討議の成果や本大会全般の研究成果・研究課題等を整理してお伝えするとともに、次期開催の第51回全国研究大会(岡山大会)の課題等を確認したいと思います。

5 全体研究会Ⅱ(3日目)

テーマ 「学校力を高める組織開発と事務職員の新しいステージへ向かう事務職員」

全体研究会Ⅱでは全体研究会Ⅰの内容を踏まえ、パネルディスカッションにおいて、学校力を高める組織開発や学校のマネジメント力向上に果たす学校事務について研究者・学識経験者、学校関係者等から御教示いただきます。また、50周年記念事業として策定する第3期学校事務のグランドデザインで描く事務職員像を参加者の皆様とともに共有し、新たなステージに立つこれからの事務職員の役割について展望する機会とします。新しいステップを踏み出す勇気と希望を得る場としたいと思います。

6 記念講演(1日目)

演 題 「スポーツが変える。未来を創る。」

～Tokyo2020 とその先に向けて～

講 師 スポーツ庁長官

鈴木 大地 氏



略 歴

千葉県習志野市出身。

競泳選手として1984年ロサンゼルス、1988年ソウル五輪に出場。ソウル五輪では男子100メートル背泳ぎで、日本競泳界に16年ぶりの金メダルをもたらした。

順天堂大学大学院を卒業後、米コロラド大学ボルダー校客員研究員、ハーバード大学のゲストコーチなどで留学を経験。2007年には順天堂大学で医学博士号を取得し、2013年同大学教授に就任。同年には日本水泳連盟会長、日本オリンピック委員会理事に就任。2015年10月より現職。また2016年10月にはアジア水泳連盟副会長、2017年7月には国際水泳連盟理事にそれぞれ選任された。

アトラクション(1日目)

【朝の部】開会式前に予定しています。

出 演 千葉県習志野市立第五中学校 吹奏楽部

日本管楽合奏コンテスト全国大会 最優秀賞 全日本アンサンブルコンテスト 金賞

千葉県吹奏楽コンクール 金賞 東関東吹奏楽コンクール 金賞

習志野五中サウンドをぜひお聴きください。

【昼の部】昼食後に予定しています。

出 演 千葉県香取市立佐原中学校 郷土芸能部

(地域の行事等に招待され、年間十数回演奏しています。)

佐原囃子(さわらばやし)とは・・・

日本三大囃子の一つで、千葉県香取市で夏と秋に行われる「佐原の大祭」(ユネスコ無形文化遺産)の山車(だし)の中で奏でお囃子です。

佐原囃子を演奏する囃子方は歌舞伎等と同じように「下座」と呼ばれ、篠笛・大鼓・小鼓・大太鼓・小太鼓・すり鉦を用い、15～20人くらいで編成する和楽器のオーケストラです。神事に伴う儀式曲や山車が曳き廻される速度に応じ、また道路の状況に応じて様々な曲(40曲以上)を奏する祭り囃子は他に例がないと言われています。

全事研からのお知らせとお願い

○総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係の方々は定刻までに御出席ください。

【期 日】 平成 30 年 7 月 31 日 (火) 受付 12 時 00 分 開会 12 時 20 分

【会 場】 ホテルポートプラザちば

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港 8-5 TEL 043-247-7211

■JR 京葉線「千葉みなと駅」より徒歩 1 分

■千葉都市モノレール「千葉みなと駅」より徒歩 1 分

■京成電鉄「新千葉駅」より徒歩 10 分

■JR 総武線「千葉駅」よりタクシー又はモノレールにて 5 分

○全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方(団体)は、手続きをお願いします。

○全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校事務職員研究会 副会長 おぎの めぐみ 荻野 恵美

所属校 川口市立新郷南小学校

所在地 〒334-0074 埼玉県川口市江戸 3-12-1

TEL 048-281-5777 FAX 048-281-5442

実行委員会からのお知らせとお願い

■ 参加申込みについて

本大会は、Webによるお申込み(大会参加・弁当・宿泊)を原則とさせていただきます。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行 千葉教育旅行支店との旅行契約になります。

○大会ホームページ <http://50th.chijiken.net>

Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。

参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web申込みを優先させていただきます。

FAXによる申込みの場合は、分科会の受付処理を受付期間終了日以降に行いますので、御希望の分科会に参加できない場合があります。

御希望の分科会に定員総数を上回る参加申込みがあった場合は、本部研究分科会に参加していただきます。あらかじめ、御了承ください。

1 受付期間 平成 30 年 5 月 15 日 (火) ～ 平成 30 年 6 月 15 日 (金)

※ 受付期間終了後の参加受付は、大会当日受付のみとなります。

(8 月 1 日 (水) と 8 月 3 日 (金) は、千葉ポートアリーナ、
8 月 2 日 (木) は千葉市民会館のみで行います。)

大会には、発券(印刷)した「研究集録引換券」「分科会参加券」「弁当引換券」を必ず御持参ください。(申込みの手順及び発券期間は、14 ページを御確認ください)

- 2 大会参加の取消し（弁当・宿泊の変更等は以下の①②を参照してください。）
参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はありません。
後日、研究集録を送付いたします。（送料着払い）

3 弁当・宿泊の変更等

- ① Webで申込まれた方は、受付期間中はWebで、受付期間を過ぎた場合はE-mail又はFAXで手続きをしてください。電話による変更・取消しは受け付けいたしません。
② 変更・取消しにて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。

<取消料>

取消日	21 日前まで	20 日～ 8 日前まで	7 日～ 2 日前まで	前日	当日
弁当	無料	無料	無料	100%	100%
宿泊	無料	20%	30%	40%	100%

- 4 参加費等の送金 クレジットカード支払、コンビニ支払又は銀行振込にてお支払いください。
※ コンビニ決済手数料（コンビニ支払）・振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。

【クレジットカード支払】 支払方法は、Webの案内を御覧ください。

【コンビニ支払】 ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・サークルKサンクス・セイコーマート（北海道地区及び関東地区）・デイリーヤマザキでお支払いが可能です。
各店舗でのお支払い手順については、Web申込み画面で御確認ください。
※ 選択いただいたコンビニエンスストア以外での払込みはできません。
※ 表示されたお支払期日までに払込んでください。

【銀行振込】 Web申込みの際、お一人様ずつ振込口座を指定されますので、そちらの口座を御利用ください。

5 その他

- ① 手話通訳の希望、車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、後日、E-mail又はFAXにて御連絡させていただきます。
② 申込みにあたっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

■ 研究集録の引換え

- 1 大会期間中、「千葉ポートアリーナ受付」にて引換券と「研究集録」を引き換えます。
但し、2日目からの参加を申込まれた方で、分科会に参加される方には分科会会場にて引き換えます。
2 当日不参加の方は、あらかじめ当日参加される方に引換券を預けていただき、代理受領をお願いします。
受け取りがない場合は、後日、送料着払いで発送します。
3 資料参加の方は、大会参加の方に代理受領していただくか、後日、送料着払いで発送します。

■ 昼食について

1日目および2日目の弁当（お茶付き）を1食1,080円（税込）で斡旋します。
参加申込みの際に注文をしてください。弁当引き換えは、当日会場にて13:30まで行います。
必ず弁当引換券（紙ベース）を御持参ください。

※ 会場周辺の飲食店数は少ないため、大変混み合う事が予想されます。弁当を利用されることをお勧めします。

※ 当日の弁当注文については斡旋をしませんので、御了承ください。

■ 宿泊について

本大会では参加申込みの際に、宿泊等の受付を行います。

詳しくは14ページの「●Webによる申込み方法」を御覧ください。

- 1 宿泊施設一覧は16・17ページを参照してください。詳細についてはWebで御覧いただけます。1泊朝食付きの料金(税・サービス料込み)が基本です。
- 2 ツインルームで申込まれる場合は同室希望者の氏名も記入してください。
- 3 FAXで申込まれた場合、御希望のホテルが満員に達した時は、他のホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 4 チェックイン・チェックアウトは各ホテルにより異なりますので、御確認ください。ホテルの規定以外の場合は、追加料金が必要となることがあります。

※ 弁当・宿泊の申込みは、(株)日本旅行千葉教育旅行支店との旅行契約になります。

■ 領収書について

- 1 大会参加費の請求書・領収書については、大会当日に配布いたします研究集録用の袋に同封いたしますので、御確認ください。
- 2 大会参加費以外の領収書の発券を希望される場合は、御入金後、申込みサイトより「株式会社日本旅行営業企画本部」名義の領収書の出力が可能です。

■ 交通・駐車場について

千葉ポートアリーナの駐車台数には限りがあります。また、各分科会会場には駐車場はございません。公共交通機関を御利用ください。

■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋した弁当以外のごみは各自でお持ち帰りください。

■ 録音等について

文部科学省行政説明及び記念講演の録音、録画、写真撮影は、一切行わないでください。

■ 問い合わせ

◇ 大会全般に関すること

50周年記念全国公立小中学校事務研究大会(千葉大会) 実行委員会 事務局長 関口 晴彦
〒286-0036 千葉県成田市加良部5-11 成田市立西中学校
TEL 0476-26-2606 FAX 0476-20-6411

◇ 参加申込み・宿泊・弁当に関すること

(株)日本旅行 千葉教育旅行支店

「50周年記念全国公立小中学校事務研究大会(千葉大会)」

担当: 営業担当(只限・春日) 業務担当(白井・久保)

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央2-3-16 千葉センタースクエアビル4階

TEL 043-227-2300 FAX 043-225-2241

営業時間: 月~金 9:30~17:30(土・日・祝日は休業)

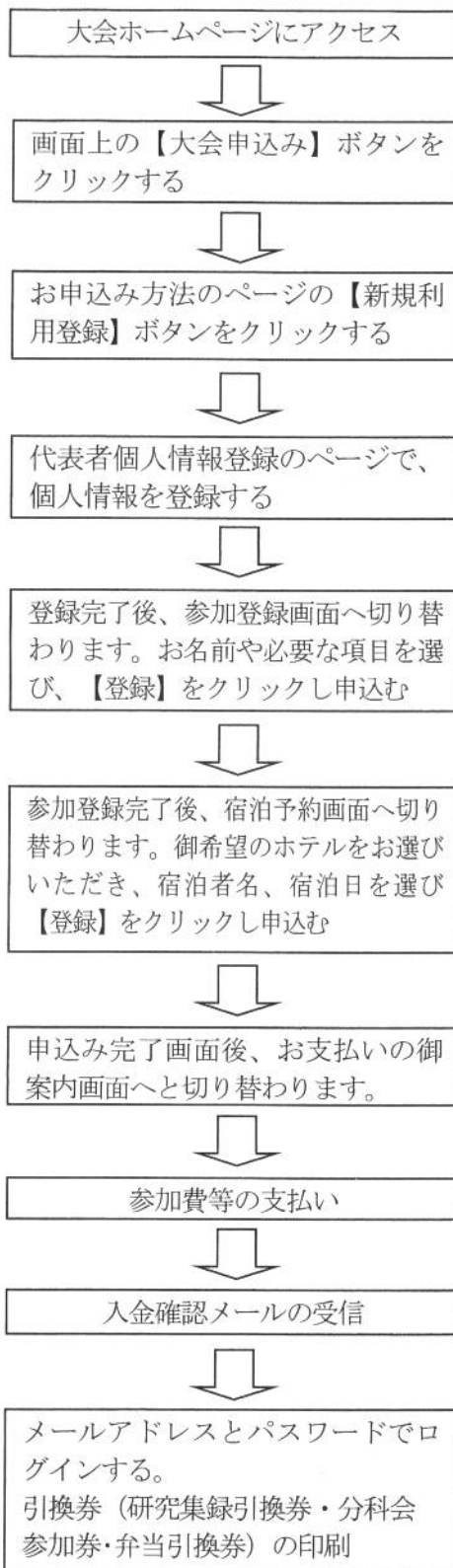
E-mail: 50chiba@nta.co.jp

※ 大会期間中の連絡先については、本大会Webページにて御案内いたします。全体会場や分科会会場へ直接問い合わせをされないようお願いいたします。

大会参加申込み方法

●Webによる申込み方法

(大会参加・弁当・宿泊)



<http://50th.chijiken.net>

ここから、(株)日本旅行千葉教育旅行支店の本大会専用ページに移動します。

個人情報の取扱いについて承認後、代表者個人情報登録画面へ進みます。

代表者個人情報を登録してください。(E-mail アドレスが必要です。) 御登録いただいたメールアドレス、パスワードによりログイン後、御予約が可能となります。

大会参加・分科会・弁当の申込みができます。御同行者の申込みは「利用者をリストに追加する」で個人情報を登録後、お一人様ずつ登録をお願いします。
※ 定数(員)の関係で御希望に添えない場合もございます。あらかじめ御了承ください。

宿泊の申込みができます。御同行者の申込みは「利用者をリストに追加する」で個人情報を登録後、お一人様ずつ登録をお願いします。禁煙室、喫煙室は御希望で承ります。予約者連絡欄に御入力ください。

支払方法は、クレジットカード支払、コンビニ支払又は銀行振込を選択してください。(手数料各自負担)

振込期限(コンビニ支払・銀行振込)までにお支払いください。

★発券期間は、受付期間終了後、メールおよび大会Webページにてお知らせします。

※ ログイン後「予約確認・変更」をクリックしてお進みください。参加券の○をクリックしますとPDFファイルが表示されます。引換券(研究集録引換券・分科会参加券・弁当引換券)を印刷し、大会当日に御持参いただき、係員に御提出ください。

●FAXによる申込み方法 (Web申込みできない環境にある場合のみ)

18ページのFAX専用大会参加申込書に必要事項を記入し、送信してください。FAXで申込みをした後、(株)日本旅行千葉教育旅行支店より受領代表者宛に請求書が郵送されますので、内容を確認していただき、参加費等の振込みをお願いします。受付期間終了後、参加券等をお送りします。

※ 御希望のホテルが満員の場合は他のホテルへ変更していただくことがあります。あらかじめ御了承ください。

千葉大会 全体会・分科会の会場一覧

【1日目】

全体会	千葉ポートアリーナ（メインアリーナ） 〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-20 043-241-0006	J R千葉駅 徒歩 16分 J R千葉みなと駅 徒歩 15分 京成千葉中央駅 徒歩 12分
-----	---	---

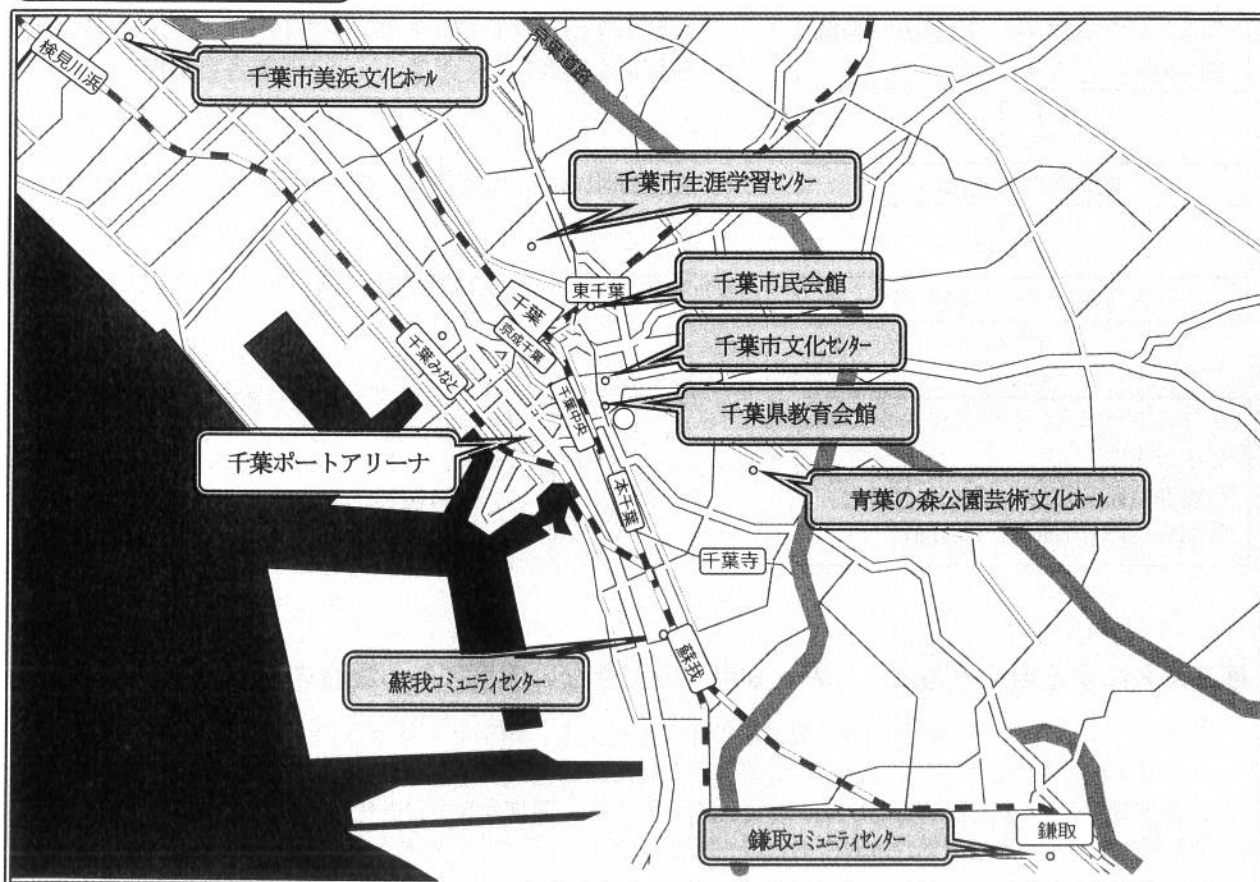
【2日目】

会 場	提案支部	会場案内
千葉市民会館 大ホール 〒260-0017 千葉市中央区要町1-1 043-224-2431	全事研本部	J R千葉駅 徒歩 7分
千葉市民会館 小ホール 〒260-0017 千葉市中央区要町1-1 043-224-2431	東北地区	京成千葉駅 徒歩 10分
青葉の森公園芸術文化ホール 〒260-0852 千葉市中央区青葉町977-1 043-266-3511	東海地区 プロジェクトチーム	京成千葉寺駅 徒歩 15分
千葉市文化センター 〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 043-224-8211	新潟支部	J R千葉駅 徒歩 10分 京成千葉中央駅 徒歩 10分
千葉市美浜文化ホール 〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-15-2 043-270-5619	滋賀支部	J R検見川浜駅 徒歩 8分
鎌取コミュニティセンター 〒266-0031 千葉市緑区おゆみ野3-15-2 043-292-6131	広島支部	J R鎌取駅 徒歩 5分
千葉市生涯学習センター 〒260-0045 千葉市中央区弁天3-7-7 043-207-5811	愛媛支部	J R千葉駅 徒歩 8分
蘇我コミュニティセンター 〒260-0834 千葉市中央区今井1-14-43 043-264-8331	佐賀支部	J R蘇我駅 徒歩 5分
千葉県教育会館 〒260-0013 千葉市中央区中央4-13-10 043-227-6141	神奈川支部	J R本千葉駅 徒歩 12分 京成千葉中央駅 徒歩 12分

【3日目】

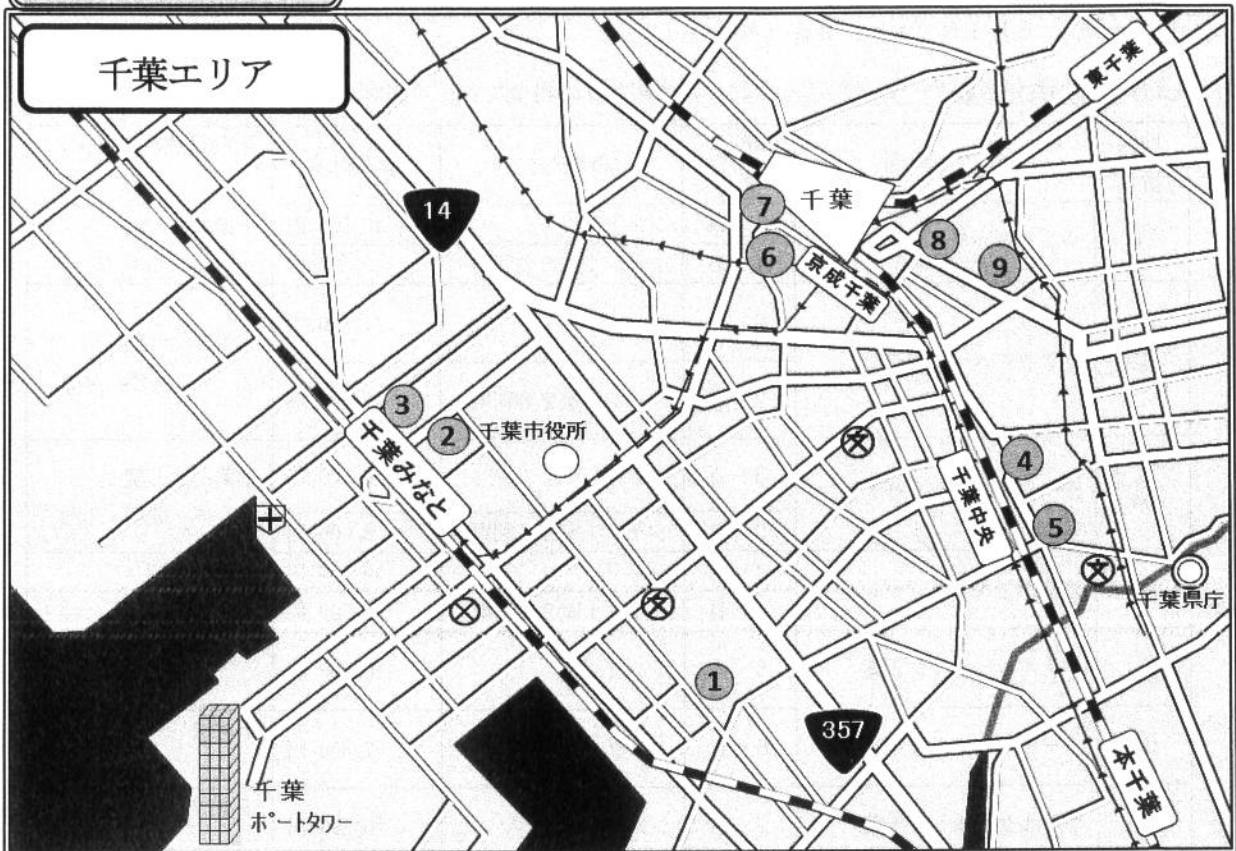
まとめの会	千葉ポートアリーナ（メインアリーナ）
-------	--------------------

会場案内図



宿泊施設案内図

千葉エリア



海浜幕張エリア



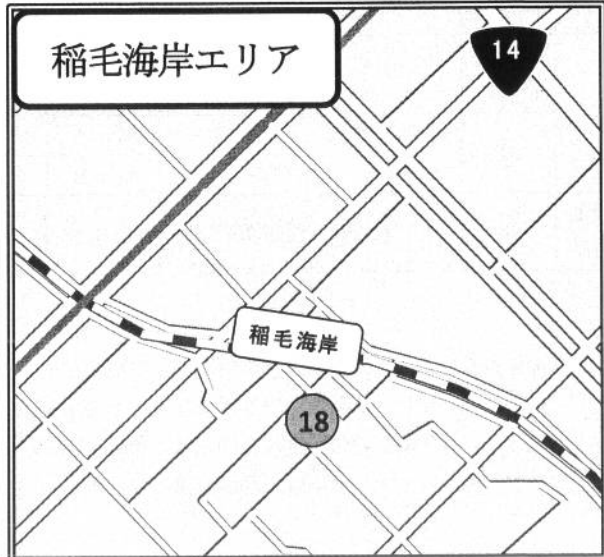
幕張本郷エリア



蘇我エリア



稲毛海岸エリア



○ 宿泊の御案内

7月31日(火)、8月1日(水)、2日(木)

表示料金は1泊朝食付き税サービス料込みの一人様あたりの料金です。(※朝食不要の場合も同料金)

エリア	地図 番号	宿泊施設名	申込 記号	部屋タイプ	宿泊料金	主な最寄駅からの アクセス
千葉	①	カンデオホテルズ千葉	1－A	シングル	10,500 円	千葉みなと駅 徒歩 15 分
			1－B	ツイン1室2名利用	9,500 円	
	②	ホテルニューツカモト	2－A	シングル	7,800 円	千葉みなと駅 徒歩 2分
			2－B	ツイン1室2名利用	7,300 円	
	③	ホテルポートプラザちば	3－A	シングル	9,000 円	千葉みなと駅 徒歩 1分
			3－B	ツイン1室2名利用	8,000 円	
	④	京成ホテルミラマーレ	4－A	シングル	10,500 円	千葉中央駅 直結
			4－B	ツイン1室2名利用	9,500 円	
	⑤	ホテルルートイン千葉	5－A	シングル	10,500 円	千葉中央駅 徒歩 3分
	⑥	パーディーホテル千葉	6－A	シングル	7,800 円	千葉駅 徒歩 1分
⑦	ホテルサンルート千葉	7－A	シングル	10,500 円	千葉駅 徒歩 1分	
海 浜 幕 張	⑧	ダイワロイネットホテル 千葉駅前	8－A	シングル	10,500 円	千葉駅 徒歩 3分
	⑨	千葉ワシントンホテル	9－A	シングル	9,000 円	千葉駅 徒歩 5分
	⑩	ホテルフランクス	10－A	シングル	12,500 円	海浜幕張駅 徒歩 3分
	⑪	ホテルグリーンタワー幕張	11－A	シングル	12,500 円	海浜幕張駅 徒歩 3分
幕 張 本 郷	⑫	ホテルスプリングス幕張	12－A	シングル	12,500 円	海浜幕張駅 徒歩 2分
			12－B	ツイン1室2名利用	11,500 円	
	⑬	アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張	13－A	シングル	12,500 円	海浜幕張駅 徒歩 5分
			13－B	ツイン1室2名利用	9,500 円	
幕 張 本 郷	⑭	ファミリーINN 幕張	14－A	シングル	9,000 円	幕張本郷駅 徒歩 7分
	⑮	ホテルメイプルイン幕張	15－A	シングル	9,000 円	幕張本郷駅 徒歩 2分
蘇 我	⑯	ドゥーミーイン千葉 City Soga	16－A	シングル	10,500 円	蘇我駅 徒歩 1分
	⑰	ホテルソガ インターナショナル	17－A	シングル	9,000 円	蘇我駅 徒歩 1分
			17－B	ツイン1室2名利用	8,000 円	
稲毛 海岸	⑱	テトランゼ稲毛海岸ホテル	18－A	シングル	10,500 円	稲毛海岸駅 徒歩 2分

※ F A Xでのお申込みの際は、必ず申込記号を明記してください。申込み順での御案内となりますのでお早めにお申込みください。なお、部屋数に限りがあります。御希望に添えない場合もありますので、あらかじめ御了承願います。

※ ツインルームを御希望の場合は、同室者名を御記入ください。

※ アパホテルのツインルームは、部屋が狭くなります。

「50周年記念全国公立小中学校事務研究大会(千葉大会)」FAX専用参加申込書

宛先：日本旅行千葉教育旅行支店 担当 只限 行 **FAX: 043-225-2241** (枚中 枚)

(TEL: 043-227-2300 E-mail: 50chiba@nta.co.jp)

下記に必要事項を御記入いただき、FAXにてお送りください。

申込締切日: 2018 年 6 月 15 日 (金)

申込日 月 日

都道府県		フリガナ 学校名 (所属先)		フリガナ 申込者	
住所 (回答先)	(□自宅 □所属先) 〒 -				
	TEL			FAX	
	携帯			E-mail	

研究収録 受取場所	☐ 全体会会場 ☐ 分科会会場
--------------	---

参加希望 分科会	分科会名	集録のみ希望	※希望分科会が定員を上回った場合、本部研究分科会へ 参加いただくこととなります。

※ 希望分科会名は、本部研究分科会は「本部」、第1分科会は「1」（以下同様）と記入してください。

※ 集録のみ希望される方は、送料着払いにて送付いたします。

宿泊	7月31日 (火)	8月1日 (水)	8月2日 (木)	同室者氏名・学校名
第1 希望	記号	記号	記号	
第2 希望	記号	記号	記号	

弁 当 (お茶付) 1,080 円	8月1日 (水)	8月2日 (木)	大会参加券等受領代表者名
	☐ 申し込む ☐ 申し込まない	☐ 申し込む ☐ 申し込まない	

連絡事項	☐ 手話通訳を希望	☐ 車椅子を使用
	☐ その他 ()	

【お客様の個人情報の取扱いについて】

①当社では、お客様からご提供いただきました個人情報を厳重に管理し、申込みいただきました宿泊の手配、チケットの発送、お客様との連絡及び大会主催者への提供ならびにこれらに付随する業務を行う為に利用します。

②その他、当社の個人情報の取扱いにつきましては当社ホームページ (<http://www.nta.co.jp>) をご参照ください。

③個人情報の取扱いに関する問い合わせ先 株式会社日本旅行 千葉教育旅行支店 (担当: 只限 修一) TEL: 043-227-2300

※ 申込上の留意事項

- Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。
- 受領代表者は、大会参加者に限ります。
- 個人参加の場合は、受領代表者＝申込者となります。
- 研究集録引換券等は、受領代表者の方宛にまとめて送付します。
- 請求書は、参加者ごとに費用明細が記入されます。(送金は極力まとめてください。)
- 受領代表者名が無記名の場合は任意で選ばせていただきます。
- 領収書を希望される方は、「連絡事項 その他」の欄にその旨を御記入ください。

一人の力を組織の力へ すべては子どもたちのために



全国公立小中学校事務職員研究会
URL: <http://zenjiken.jp> E-mail: info@zenjiken.jp